



# 六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.71  
六甲山系最大のススキ、ネザサ  
草原、東お多福山の現状



子ども達が草原生植物について  
学べる場に！

## 第71回テーマ：

### 六甲山系最大のススキ、ネザサ 草原、東お多福山の現状

#### 講演内容

- 東お多福山の植物の多様性の歴史
- 東お多福山の草原の現状
- 復元に向けて今後の課題

実施日：平成21年2月21日（土）  
午後1時～3時45分  
場 所：六甲山YMCA



#### 講師：橋本 佳延さん プロフィール

1976年生まれ。愛知県出身。  
神戸大学大学院総合人間科学  
研究科修了、修士。民間企  
業勤務を経て、現在兵庫県立  
人と自然の博物館研究員。

## 六甲山には春の兆し

2月も下旬のセミナー当日の朝、六甲山は雨上がりの曇り空でした。記念碑台の散策路では、二つ池に薄氷が張り－3℃でした。日当たりの良いところは温かく、アセビの花芽がつきはじめており、春が近づいているのを感じました。

## 六甲山研究を担う若手研究者

今回の市民セミナーは、兵庫県立人と自然の博物館・研究員の橋本佳延さんをお願いしました。橋本さんは大学時代に六甲山でコナラの植生を調査されています。このたびは東お多福山のススキ草原の植生復活実験に取り組み、六甲山研究を担っていく若手研究者として期待を集めておられます。

セミナーには100枚近くのスライドと配布資料をご用意いただきました。綿密な調査研究にもとづいたデータと、豊富で美しい草原生植物の写真を使い、草原の利用から植生復元実験にわたって、詳しく解説していただきました。

## 東多福山で植生復活への取り組み

県立人と自然の博物館と市民団体が共同で、東お多福山のススキ草原の復活に向けて、2007年から3年計画で植生復元実験に取り組んでいます。

東お多福山は六甲山の南東部に位置し、芦屋市と神戸市の境界上に広がる都市近郊の草原です。面積は1976年には約36ha、2008年は約9haで4分の1に減少しています。



ネザサを手刈りする

07年秋から東お多福山の一部、500平方メートルでネザサを刈り取りネザサの落葉をかき取って、刈り取り後の植生を調査しています。刈り取りと落葉かきによって土中の草原生植物の種子の発芽を期待しています。

刈り取り後1年で、わずかに残っていた植物が生長し、花が咲いた植物も確認できました。植物種類は約1.5倍、ネザサ以外の草原生植物の葉の量は約6倍になりました。

橋本さんたちが進めている植生復活実験には徐々に手ごたえもみえはじめており、今後5年程度は管理を続けていく必要を感じているとのこと。

## 六甲山で植生の多様性を復活したい

一見緑で覆われている六甲山ですが、植生の多様性が失われています。「東お多福山の草原は病んでいる」と、植生の多様性を復活するために、意欲的な試みを進めておられます。当会でも「二つ池エリア」の環境創成に注力をしていくつもりです。

※詳しくは、1、2ページをお読みください。

### 参加の感想 徳山 武さん

私も東お多福山の試験的な刈り取りによるススキ草原の復元実験に当初の2007年秋より参加させてもらっています。橋本先生には刈り取りの効果的な時期や調査の結果等その都度説明を受けてそれなりに理解しています。



今回のように歴史、現状、今後の課題等、系統的な講義は初めてで、改めて調査の意義が自覚できました。

今後も講演や現地を目にされた方がこれらの実験に興味を示され又は参加されることを期待しています。

主催：六甲山自然保護センターを活用する会

協力：兵庫県立人と自然の博物館

後援：兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

【助成金をいただいている機関】

コベルコ環境保全基金、灘区役所

公益信託自然保護ボランティアファンド、

公益信託 TaKaRa ハーモニストファンド